

令和3年度 水道事業会計決算

資料 3－2

○事業概況

令和3年度の水運用については、滝畑ダムの濁水や台風等の影響もなく、年間を通して順調に運用することができました。また、水需要については、新型コロナウイルス感染症の影響は落ち着いたものの、大幅な人口減少等により減少傾向にあることから、依然として厳しい経営環境が続いています。

令和3年度の上水道ビジョンに基づく主な施策としては、「強靱」の取り組みとして、重要給水施設などへの水道管路の更新工事の実施や日野配水池耐震診断・地質調査業務に着手し、配水施設の耐震化を推進しました。また、老朽施設の更新として、日野浄水場の自家発・受変電設備及び二市分岐点室の受電設備の更新、さらに、送水ポンプの更新工事を行いました。「安全」の取り組みとして、老朽化した浄水施設の統廃合（ダウンサイジング）や安定水源の確保を目標として、基幹施設である西之山配水池の統廃合と企業団第2分岐の導入を図るため、西之山配水場地権整理業務を実施しました。また、水質基準改正への対応として、日野浄水場活性炭注入設備更新工事の実施設計に着手しました。「持続」の取り組みとして、大阪広域水道企業団との統合効果を検証するため、水道事業統合促進基金の活用による最適配置案等の検討を行いました。

○業務量

事 項		単 位	令和3年度	令和2年度	比 較	
					増 減	対前年度比（％）
行政区域内人口		人	101,276	102,920	△1,644	98.4
年度末給水人口		人	101,262	102,906	△1,644	98.4
普 及 率		％	99.99	99.99	0.00	100.0
年度末給水戸数		戸	47,497	47,684	△187	99.6
配 水 量	年間	m ³	10,761,237	11,090,819	△329,582	97.0
	1 力月平均	m ³	896,770	924,235	△27,465	97.0
	1 日平均	m ³	29,483	30,386	△903	97.0
有 収 水 量	年間	m ³	10,220,704	10,420,480	△199,776	98.1
	1 力月平均	m ³	851,725	868,373	△16,648	98.1
	1 日平均	m ³	28,002	28,549	△547	98.1
1 日最大配水量		m ³	33,141	35,083	△1,942	94.5
有 収 率		％	94.98	93.96	1.02	101.1

○令和3年度決算

【 収益的収支関係 】

（ 単位 ： 円 税 抜 ）

	令和3年度決算	令和2年度決算	増 減	主な増減内容
水道事業収益	2,336,585,816	2,380,204,034	△ 43,618,218	
営業収益	1,684,465,860	1,658,491,850	25,974,010	給水収益の増（27,336,571）
営業外収益	652,119,956	721,026,183	△ 68,906,227	一般会計繰入金の減（△53,995,399） 長期前受金戻入の減（△9,291,970）
特別利益	0	686,001	△ 686,001	
水道事業費用	2,147,503,294	2,197,066,934	△ 49,563,640	
営業費用	2,072,735,058	2,111,778,781	△ 39,043,723	原水浄水費の減（△10,310,852） 減価償却費の減（△16,837,291） 資産減耗費の減（△12,792,173）
営業外費用	74,768,236	85,288,153	△ 10,519,917	支払利息の減（△6,071,344）
差 引	189,082,522	183,137,100	5,945,422	

【 資本的収支関係 】

(単位 : 円 税込)

	令和3年度決算	令和2年度決算	増 減	主な増減内容
資本的収入	538,966,033	448,501,731	90,464,302	
企業債	150,000,000	190,000,000	△ 40,000,000	工事負担金の増 (148,109,550) 国庫補助金の減 (△8,750,000)
工事等負担金	325,887,987	185,031,304	140,856,683	
国庫補助金	0	8,750,000	△ 8,750,000	
一般会計繰入金	12,885,704	14,133,338	△ 1,247,634	
長期貸付金返還金	50,000,000	50,000,000	0	
その他	192,342	587,089	△ 394,747	
資本的支出	1,302,022,529	1,099,153,862	202,868,667	
建設改良費	971,360,891	780,875,013	190,485,878	配水施設等改良工事費の増 (213,408,888)
企業債償還金	330,469,296	318,037,160	12,432,136	
投資	192,342	241,689	△ 49,347	
差 引	△ 763,056,496	△ 650,652,131	△ 112,404,365	

資本的収入額が資本的支出額に不足する額763,056,496円は、当年度分消費税資本的収支調整額54,022,808円及び過年度分損益勘定留保資金709,033,688円で補てんした。

○職員数について

(単位:人)

	令和3年度決算	令和2年度決算	増減	備考
損益勘定支弁職員	16	15	1	再任用短時間・会計年度任用 (パートタイム) 職員含まず
資本勘定支弁職員	7	7	0	
合 計	23	22	1	

○基金の状況について

(単位:円)

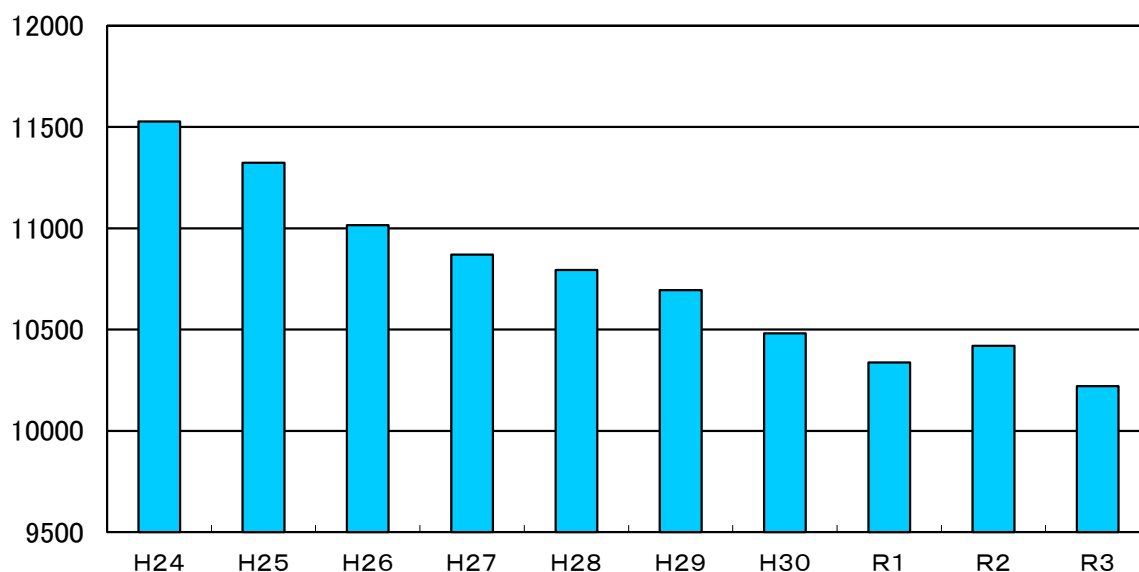
	令和2年度末残高	積立額	使用額	令和3年度末残高
水道事業基金	177,136,860	192,342	0	177,329,202

○企業債の状況について

(単位:円)

	令和2年度末残高	借入額	償還額	令和3年度末残高
企業債	4,364,868,839	150,000,000	330,469,296	4,184,399,543

○年度別有収水量 (千㎡)



令和3年度 下水道事業会計決算

資料3-2

○事業概況

令和3年度の下水道使用料収入は、供用開始済の地域での水洗化を実施したものの、新型コロナウイルス感染症による巣ごもり需要が減少したことなどから、前年度と比較して減少しました。一方、費用については、大阪府の狭山水みらいセンターへの負担金が増加したことなどから、前年度と比較して増加しました。

令和3年度の上下水道ビジョンに基づく主な施策としては、「快適な生活環境」の取り組みとして、公共下水道整備事業を実施するとともに、浄化槽整備事業も実施しました。

「安全・安心」の取り組みとして、住宅団地の老朽化した下水道管路施設や滝畑浄化センターの設備更新について、ストックマネジメント計画に基づき長寿命化対策工事を実施しました。また、災害時における避難所の生活衛生を確保するため、小山田小学校などでマンホールトイレの整備を行いました。

「安定・経営基盤の強化」の取り組みとして、下水道管路施設の維持管理体制の効率化を図るため、下水道管路施設の包括的管理業務の区域を従前の6団地から市域全域に拡大しました。

○業務量

事 項		単 位	令和3年度	令和2年度	比 較	
					増 減	対前年度比（％）
行政区域内人口		人	101,276	102,920	△1,644	98.4
年度末整備人口		人	95,740	96,913	△1,173	98.8
普 及 率		％	94.53	94.16	0.37	100.4
処理区域内人口		人	95,448	96,524	△1,076	98.9
水洗化人口		人	91,556	92,643	△1,087	98.8
水洗化率		％	95.92	95.98	△0.06	99.9
水洗化世帯		世帯	42,876	42,849	27	100.1
浄化槽整備人口		人	469	479	△10	97.9
有 収 水 量	年間	m ³	9,261,840	9,424,816	△162,976	98.3
	1カ月平均	m ³	771,820	785,401	△13,581	98.3
	1日平均	m ³	25,375	25,821	△446	98.3
年間下水道管布設延長		m	2,308	3,422	△1,114	67.4

○令和3年度決算

【収益的収支関係】

（単位：円 税抜）

	令和3年度決算	令和2年度決算	増 減	主な増減内容
下水道事業収益	3,187,905,174	3,161,879,025	26,026,149	
営業収益	1,521,416,074	1,547,578,905	△ 26,162,831	下水道使用料の減（△21,028,800）
営業外収益	1,652,793,385	1,603,999,339	48,794,046	一般会計繰入金の増（8,750,001） 雑収益の増（42,152,108）
特別利益	13,695,715	10,300,781	3,394,934	過年度損益修正益の増（1,913,360）
下水道事業費用	2,992,372,843	2,951,009,599	41,363,244	
営業費用	2,651,393,488	2,579,556,803	71,836,685	管渠費の増（66,649,767） 流域下水道維持管理負担金の増（9,024,129）
営業外費用	340,979,355	371,452,796	△ 30,473,441	総係費の減（△7,867,657） 支払利息の減（△35,746,614）
差 引	195,532,331	210,869,426	△ 15,337,095	

【 資本的収支関係 】

(単位:円 税込)

	令和3年度決算	令和2年度決算	増 減	主な増減内容
資本的収入	1,700,860,560	1,858,060,737	△ 157,200,177	
企業債	1,125,520,000	1,239,936,000	△ 114,416,000	建設企業債の減 (△127,100,000)
他会計出資金	319,561,740	314,823,687	4,738,053	一般会計からの出資金の増 (4,738,053)
国庫補助金	220,304,000	250,476,000	△ 30,172,000	社会資本整備総合交付金の減 (△30,000,000)
府補助金	22,000	34,000	△ 12,000	
負担金及び分担金	35,452,820	52,791,050	△ 17,338,230	受益者負担金の減 (△14,014,830)
資本的支出	2,902,947,070	3,018,219,468	△ 115,272,398	
建設改良費	739,340,756	917,821,133	△ 178,480,377	工事請負費の減 (△206,168,010) ※未普及整備工事の減 補償費の減 (△25,565,200) 委託料の増 (72,517,660)
企業債償還金	2,113,606,314	2,050,398,335	63,207,979	
他会計借入金償還金	50,000,000	50,000,000	0	
差 引	△ 1,202,086,510	△ 1,160,158,731	△ 41,927,779	

資本的収入額が資本的支出額に不足する額1,202,086,510円は、当年度分消費税資本的収支調整額38,201,676円、減債積立金210,800,000円、損益勘定留保資金927,078,662円及び当年度利益剰余金処分額26,006,172円で補てんした。

○職員数について

(単位:人)

	令和3年度決算	令和2年度決算	増減	備考
損益勘定支弁職員	10	11	△ 1	再任用短時間・会計年度任用 (パートタイム) 職員含まず
資本勘定支弁職員	5	8	△ 3	
合 計	15	19	△ 4	

○企業債の状況について

(単位:円)

	令和2年度末残高	借入額	償還額	令和3年度末残高
企業債	22,639,532,247	1,125,520,000	2,113,606,314	21,651,445,933

○年度別有収水量 (千㎡)

